group1 6/3 会議まとめ

ワークスペース:

Google Jamboard
AutoDesk360

今日の会議の方針:

機構やモータ数の制約に基づいてデザインを柔軟に変更する必要がある。 大まかなデザイン案を決定したので、次に制約(機構・モータ)に詳しくなった後に Fusion360での具体的なデザイン作成に入る。

議題に上がったこと:

1. 首の自由度(2 or 3)をどのような機構で再現するか。

参考にした資料

球体

LOVOT

 Fusion360の準備。共有のためのAutoDesk Desktop connectorについて win←→Mac間はブラウザ上であれば可能 CADデザイン・機構・サーキットなど幅広く扱えるためFusion360を全員で動かしていくことを検討。

オンラインのワークスペースを用意し、参加・準備をした。

3. 各個人で自分のやりたい勉強を進める

技術担当の知見に基づいて、実現可能性を検討しながらデザイン案を考えていくため。

とりあえずの担当:

- 1. Ito.H 電子回路
- 2. Fujiuchi.H CAD機構
- 3. Kiijima.T CAD機構
- 4. Myajima.T 未定
- 4. 機構やモータについて知ったほうが良い。 PLEN:bit

現時点での決定事項:

- 1. コンセプト「人に愛され、かつ先手をうつコミュニケーション」
- 2. マックスサイズ(cm): h30 l20 w20
- 3. 首、腕、足を動かす←動きと声をリンクさせたい

- 4. 人型には拘らない
- 5. 光による表現(表情など)
- 6. 人の声への反応

意見を聞きたい箇所:

- 1. 首の動きについて
- 大まかな形状について 胴体を太くした形(R2D2) 胴体は細く(スマブラロボット)

次回(6/5)に考えたいこと:

表現できる感情の数を決める。

→動かすパーツの決定に関わってくる。